



—淡路の情報いっぱい！生活創造しんぶん—

月刊

ポケットあわじ



つなごう 未来へ 芸術の秋を楽しむ子ども達

VOL.162

もくじ

P1 子供神楽 P2 志童 P3 若鮎会・煎茶教室 P4 福井子供会人形浄瑠璃部 P5 サンシャイン少年少女合唱団・尾崎ガーデンズ
P6 淡路文化会館・人と自然の博物館等からのお知らせ・プラットフォーム淡路島からのお知らせ P7,8 淡路の文化活動・イベント情報

目標は
東京五輪奉納



こどもかぐら 子供神楽

淡路の国の一宮伊弉諾神宮では2008年より毎年9月23日(くにうみの日)に出雲、高千穂の神楽を淡路に招いて三大神話神楽祭が行われています。5回目を迎えた2012年古事記編纂

1300年に伊弉諾神宮において初めて地元の子ども達による「創生国生み神楽」が奉納されました。

観光庁エンタメ観光マイスター第1号であるアーティスト表 博耀(おもてひろあき)氏が伝統美と現代の融合ネオ・ジャパネスク(温故創新)創生神楽の奉納で伊弉諾神宮に訪れた折、偶然喫茶店で出会ったくにうみ神話のまちづくり実行委員会のメンバーと三大神話神楽祭の話で盛り上がり意気投合！古来より伝わる日本国創生物語のくにうみ神話をテーマに子供神楽を始めるきっかけとなりました。

神楽とは神様に奉げる歌や踊りです。「古事記」によると、神様が岩戸の奥にかくれた時、外に連れ出すために楽しいことがあるよと、もう一人の神様が踊って見せたことが神楽の始まりと言われています。

2011年に「神楽っ子」として神楽を舞う子どもたちの募集を行ったところ、下は4歳から上は小学6年生の地域の子どもたちが集まりました。実はここからが大変で道具類や衣装も型紙を起こすところから、みんなボランティアによる手作り。太鼓、笛、歌などの音曲(おんぎょく)や舞台の設置も総勢34名の地元のボランティアスタッフによって支えられています。毎月2回、多賀の淡路地域総合センター(ふるさとセンター)でのきびしい練習を欠かしません。三大神話神楽祭で奉納する前は心を律するため多賀海岸で禊をして舞台に挑んでいます。今は2020年に日本書紀1300年を迎えるに当たって東京オリンピックに奉納することを目標に頑張っています。(応援隊:竹代 結・小原 町子)



「淡路ワールドパークONOKORO」で30分の神楽舞台公演をします！
11月15日 AM11:00~



「創生国生み神楽」公演スケジュール

※ 伊弉諾神宮夜神楽 毎月22日夫婦の日PM7:50~(4月を除く)
アークライトによりライトアップされた伊弉諾神宮本殿前に設置された舞台上で創生国生み神楽が奉納されます。夜の神宮はとっても神秘的！荘厳な空感に包まれて神楽を楽しみませんか。語り部による解説つき正式参拝、神楽鑑賞のセットコース1人3,800円要事前予約。
詳しくは伊弉諾神宮内「せきれいの里」TEL0799-70-1010(10:00~17:00)



神楽っ子募集
舞手の子ども募集。
概ね5才~小学6年生までの男児。
募集人員若干名

神楽っ子についての問い合わせ先
くにうみ神話のまちづくり実行委員会 神楽担当 大杖康之
TEL 0799-85-0228 FAX 0799-85-2008(10:00~17:00)



淡路ワールドパークONOKOROで演奏します。11月14日(土)14:30～ 中学生も一緒に演奏します。

淡路ワールドパークONOKOROで演奏します。11/14(土) 14:30～ 中学生も一緒に演奏します。

伝統を未来へつなぐ太鼓のリズム

しちえいしょう

オリジナル組曲「志知永翔」

正面に大きく志童(しどう)と書かれた和太鼓をはじめ、しめ太鼓に桶胴太鼓。ステージ全体では様々な種類の太鼓がおよそ15台以上も並び、後方には志童と白く染め抜かれたのぼり旗。大勢の観客の前で堂々と演奏するのは1年生から6年生までの総勢20名の和太鼓クラブ志童です。(南あわじ市立三原志知小学校・全校児童20名)

地元に伝わる中島踊りや獅子舞いのアップテンポなリズムを元気よく打つ「志童参上」、たくさんの種類の太鼓の音を重ねて表現する「彼響(かきょう)」学校の裏手の鶴来山を思い浮かべながら、堂々と高らかにうたい、叩く「鶴来(かくらい)」。オリジナル組曲『志知永翔(しちえいしょう)』です。子どもたちのエネルギーで華麗なバチさばきや、乱れることなくみんなが一つになったかのような太鼓演奏は、見る人の心を感動で揺さぶります。さぞかし歴史ある太鼓クラブであろうと思いきや、なんと創部3年目。そして、演奏しているのは全校児童というから驚きです。中心になって指導する先生に話を聞きました。その先生が3年前三原志知小に転勤してきた時、前任校で指導していた和太鼓をぜひ、三原志知小でもという保護者の声もあり、全職員で取り組むことになりました。4月にス



ター。初舞台は5月の体育会というから驚きです。「祭り太鼓」からスタートし、昨年度からはオリジナル組曲「志知永翔」も取り入れました。かつて三原志知小のすぐ近くにあった県立志知高校で演奏されていた組曲です。作曲者の中川真由美さん{和太鼓 美鼓音(みこと)}の指導を仰いで立派に受け継ぎました。3年という期間でここまで成長するには子どもたちにも並々ならぬ努力と高い目標があったからといえます。小規模校では大勢の前で自分を表現することが極端に少なくなりますが、子どもたち一人一人に自信をつけてやりたいという職員の願いは立派に子どもたちに届いているようです。



「鶴来」を声高らかに堂々とうたい上げる別所基樹君(5年生 写真下)は、「大勢のお客さんの前で拍手や手拍子をもらえ、会場が盛り上がってきたら自分も笑顔になり、練習していたよかったと思う。これからも続けたい。」と話していました。保護者や地域も力強く後押ししています。どこかのイベント会場で「志童」を見かけましたら、ぜひ大きな拍手と手拍子をお願いします。



をお願いします。

(応援隊:村上 紀代美)

天地の物を大切に
社会のお役に立つ経営

受け継がれる自然の恵み
matsumoto マツモト産業株式会社

本社 〒656-0473 兵庫県南あわじ市市小井123番地

TEL 0799-42-5000 <http://www.matsumoto-group.co.jp>

マテリアル事業部(石材部・セメント部・コンクリート部)・建材部(建材1課・建材2課)

【マテリアル事業部】

- 本社営業部
- 神戸営業所
- 小野営業所
- 九州営業所

【建材部】

- 建材1課
- 建材2課
- 神戸営業所



松網編を発見しました

鮎原小学校 若鮎会

洲本市立鮎原小学校では、3年生で地域の伝統芸能を学ぶ一環として、だんじり唄を習います。だんじり唄は、太鼓と拍子木でリズムを取りながら、グループで浄瑠璃や歌謡浪曲の外題のクライマックスシーンを、独特の節回しで情感豊かに唄い上げるものです。

若鮎会は、小学校の中でそんな伝統芸能を学びたいと集まった有志達が、活動しているグループです。若鮎会は、河上神社春祭りやだんじり唄コンクールを始め、老人会のイベントほか年間を通し、様々なイベントに出演しています。今年の4月26日(日)には、第26回だんじり唄コンクールが、五色文化ホールで開催されました。祭り・保存・継承の部、愛好の部、特別出演団体と様々な団体が出場する中、若鮎会は少年・少女の部において準優勝に選ばれました。「岸壁の母」のだんじり唄は、とても見応えがあって、観客の方から多くの拍手をいただいていた。

現在、若鮎会は1年生5名、2年生3名、3年生2名、4年生8名、5年生1名、6年生5名の計24名で活動していま



だんじり歌コンクール 少年・少女の部 準優勝

す。熱心に指導して下さる木下さんのもと、毎週、学校近くのうめばち会館にて練習に励んでいます。

若鮎会に入っている子どもたちは、異年齢の子と一緒に、老人会をはじめ色々な場所で、多くの人に温かく見守ってもらいながら頑張っています。子どもたちに話を聞いたところ、出演している時は緊張するけれど、沢山の人の見てもらえて喜んでもらえるのは嬉しいと言っていました。友達と一緒に貴重な体験ができて、とてもいい経験になると思いました。11月15日(日)には、河上神社境内で開かれる「淡路へその市」に出演予定です。子どもたちの素敵な唄、そして頑張っている姿を是非見に行ってくださいね。(応援隊:三宅 恵理子)



楽しく学ぼうこどもの煎茶教室

煎茶道方円流 田村尚園さん 電話0799-22-5158

煎茶道ってご存知でしょうか？茶道と聞くと、お茶碗で抹茶を飲むあのお茶を想像していました。ところが、煎茶教室の行われている巖島神社(弁天さん)の齋館に入っていくと、とても和やかな雰囲気でおけいこが進められていました。

指導者の田村尚園さんにお聞きすると、煎茶道の歴史は古く中国の明の時代からあり、お茶を味わいながら諸道具を鑑賞し、詩を読み、画を語り楽しみながらお茶をいただく煎茶芸術が生まれました。日本には江戸時代の初期に伝わり、たちまちの間に広まって現在に受け継がれています。この教室では煎茶道の作法を学び、人と人のふれあいを大切にして、一期一会のこころを教えているそうです。

この教室は、文化庁伝統文化親子教室事業の一環として原則、第2・第4土曜日の月に2回行われています。

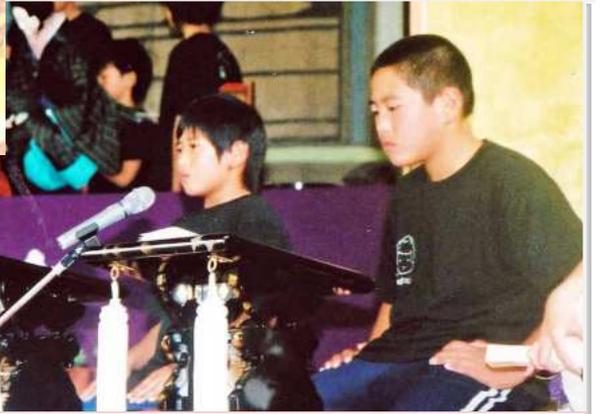
現在は洲本市内に住む小学校2年生から高校2年生までの21人がおけいこに通っています。「こどもの煎茶教室」は今年で9年目になり、ここで学んだ子どもたちはすでに100人を超えているそうです。私も少し緊張をしながらお茶をいただきました。小さな湯飲みで出されたお茶は渋さの中にも甘さがあってとても美味しかったです。

小学生に習うきっかけを聞くと「自分から習いたかった」「お母さんに勧められた」「友達と一緒に習いたかった」「行儀がよくなると思った」などと話してくれました。また、作法について先輩から初心者にはアドバイスを与えている姿がとてもほほえましかったです。発表の場として「図書館まつり」などに参加されています。このような歴史のある「煎茶道」をこの子どもたちがこれからも継承して欲しいなあと思いました。

(応援隊:田処 吉久・田村 ひろ子)



福井子供会 人形浄瑠璃部



毎週火曜日
南淡子供人形浄瑠璃館で
練習しています。 福井 淡路 人形



浄瑠璃部のメンバーは保育園児から中学生まで



通き通った子どもの声のおつるさん

子どもたちが演じる
傾城阿波の壱門に感動しました！

淡路人形浄瑠璃は500年の歴史を誇る、淡路島を代表する伝統芸能です。西宮の人形遣いと京都で三味線の伴奏で語る浄瑠璃が結びついて人形浄瑠璃が成立しました。18世紀前半には、40以上の座元が全国を巡業して浄瑠璃文化を伝え、岩手県盛岡や長野県伊那地方、四国、九州など各地に淡路系人形芝居を根付かせました。大阪の文楽の始祖・植村文楽軒も淡路の出身です。忘れ去られた演目や、早変わりなど独特の演出を長く伝承してきた淡路人形浄瑠璃。人形の頭は文楽の頭より大きく、野掛けなど野外での公演でよく見えるように作られたそうです。文楽の人形より淡路の人形の方が派手に見え、舞台映えしているように思います。



この大切な伝統芸能、淡路人形浄瑠璃を子どもの時から守り受け継いでもらおうと、昭和46年、旧南淡町賀集に、福井子供会人形浄瑠璃部が発足しました。浄瑠璃を鶴澤友路師匠に、人形遣いを隅田正子師匠の指導を受け、週1回の練習をしてきました。平成元年に立派な南淡町子供浄瑠璃館が完成。現在は、淡路人形座から、子供会OBの竹本友庄師匠に浄瑠璃を、吉田廣の助師匠に人形遣いを、毎週火曜日19時30分から1時間、中学生6人、小学生8人、保育園児2人が、指導受けています。

良く通るしっかりした声の中学生のお兄ちゃんと可愛い声の女の子の語り。人形遣いは、繊細な人形の表情、手の動き、人形に魂が入ったようで見ていると目が

離せません。真剣な顔でお師匠さんの言葉を聞いている姿は人形浄瑠璃が好きで好きでたまらないことが伝わってきます。練習後、話を聞くと中学生は学校でも郷土芸能部でがんばっているそうです。福井地区以外から南あわじに引っ越してきて、人形浄瑠璃がやりたいと参加している小学生もいるそうです。保育園児は上の兄弟について来て、一生懸命口をあけてがんばっていました。台本の字はまだ読めないけど耳から聞いて覚えているそうです。

練習を見学させてもらいに子供浄瑠璃館に入ったとき、小さな子がみんなの靴をきれいに並べていました。さすが伝統芸能を伝承する子どもたちと感心！！

(応援隊:坂本 厚子・川原 雅代)

平成16年発足 サンシャイン少年少女合唱団



【サンシャイン少年少女合唱団プロフィール】

平成16年に発足。今年で11年目を迎える。創作オペラ「おのころ伝説」出演を皮切りにクリスマスコンサート、ハロウィンコンサート等に出演。歌って踊って演じることができる合唱団を目指している。メンバーは淡路市在住の小学校1年生から高校生まで。昨年のしづかホールでの『ONE STEP淡路島古事記外伝』で、センチュリー交響楽団をバックに歌った『LET IT GO ~ありのまままで~』は高い評価を得ている。歌って踊って演じることのできる合唱団を目指している。

東浦サンシャインホールの一室の前で耳を澄ませると中からかすかに聞こえるピアノと発声練習の声。そっとドアを開けると「アー、アー」が私には「ウォー、ウアー、ウェー」と聞こえ、先生の広い音域と、ご自身も常に笑顔絶やさなく、子どもたちにも笑顔で、お腹から声を出し、全身を使つての練習を導き、ある時はうしろ一面の鏡に向かって自分を映し出し、自分たちの表情、動きを確かめながらの練習。数回声を出したり、身体を動かしていると、スーッと溶け込んで個々の得意とする面が引き出され、子どもたちはとても楽しそうに歌って、踊っていました。

合唱団のメンバーは、淡路市在住の小学校1年生から高校生までの11名。年齢差はあっても練習量は同じで、声を出し、顔の表情も考え、手、足を使い、身体全部を使って歌って踊って演

じている姿は、まさに感動そのものです。

曲目も「ずいずいずっころばし」、「森の小人」などの童謡から、「小さな世界」までレパートリーも豊富です。最近の世界の情勢を考えると、誰もが「世界中どこだって笑いがあり、涙があり、みんなそれぞれ助け合う小さな世界。世界はせまい、世界はおなじ、世界はまるい、ただひとつ」に込められた歌詞のように、世界中の人たちへのメッセージとなってほしいと思わずにはいられません。帰りは私も心豊かになり、歌を口ずさみ足取りも軽くなりました。（応援隊・廣岡 ひろ子）



県民交流広場紹介
 尾崎ふれあい交流広場
 「尾崎ガーデンズ」
 15.4ページ

皆が集える場～パンカフェ～ 「尾崎ガーデンズ」が大好評！！

2014年3月に閉園された旧尾崎保育園を有効活用しようと、尾崎ふれあい交流広場が市に申し入れをして実現しました。キンダーガーデン（幼稚園）を「尾崎の人たちが集う憩いの場」と、庭を美しく整備して「尾崎ガーデンズ」に。囲碁将棋、パソコン教室、料理教室、グラウンドゴルフ、竹炭作り、地域の加工品・手作り小物等の販売などが始まりました。そして、歌声喫茶も予定しています。活動の中心となる人が

でき、運営の財政面での見通しもついてきました。地域の方々のニーズや関心も多様化する中で、より多くの参加者の「輪と和」を拡げていく活動を展開して、地域活性の拠点となっています。元気で頑張っている広場からの発信が、他地域との連携に繋がっていけばいいと痛感しました。11月からはおにぎりセット（おにぎり＋おでん＋豚汁）も登場です。週末のひとときを是非とも「尾崎ガーデンズ」で。（会館：中田）



- 営業：毎週金、土曜日 9:00～13:00
- パン：20種類（50～200円）
- コヒ：100円 ○ガーデンズセット：350円
- ※淡路市尾崎1786 TEL70-6428(植松康有方)



訂正とお詫び：10月号の生活創造活動グループ紹介で『淡路島未来教育研究会（森のようちえん まんまる in 淡路島マンモス）』を紹介しましたが、「淡路島未来教育支援会」でした。訂正してお詫びいたします。申し訳ありませんでした。（会館担当）

★淡路文化会館からのお知らせ (いざなぎの丘元気っ子7:エ)

★人と自然の博物館からのお知らせ

いざなぎの丘 元気っ子フェスティバル

子どもから大人まで、体験イベントや遊びを通して、3世代の心の交流を深めます。淡路の元気っ子、集まれ!

◆日時: 11月22日(日) 10:00~15:00
◆場所: ふるさとセンター(淡路市地域総合センター)
いざなぎアリーナ(一宮体育センター)



<雨天決行>

入場無料

- 【体験ブース】しおりづくり、はんこあそび、巨大しゃぼん玉・くうき砲、紙しばい・こままわし、竹ざいくなど20ブース
- 【飲食ブース】タコ焼き、焼きそばなど5ブース
- 【同時開催】県民交流広場淡路地域交流フェスタ(長沢地区、生穂地区)商品 テスト体験コーナー
- 【協賛イベント】放水体験、ミニパト見学

ひとはくスペシャルセミナー 「吹上浜探検隊」

~吹上浜で地層観察とビーチコーミング~

南あわじ市の吹上浜には、めずらしい地層や流れ着いた漂流物がいっぱい!兵庫県立人と自然の博物館の専門家と一緒に、地層観察やビーチコーミング(漂流物の収集)を通じて、吹上浜の魅力を発見・体験しませんか?お子様から大人まで、関心のある方はぜひご参加ください。

◆日時: 11月8日(日)
9:00~15:30 ※雨天中止

◆場所: 吹上浜、国立淡路青少年交流の家(南あわじ市)

- ◆対象: 小学3年生以上(小学生は要保護者同伴)
- ◆定員: 20名 ※応募多数の場合は抽選
- ◆参加費: 100円(レクリエーション保険料として)

<申し込み・問い合わせ先>

兵庫県立人と自然の博物館 生涯学習課セミナー係
TEL 079-559-2003 FAX 079-559-2033
Eメール seminar@hitohaku.jp

「淡路ふれあいフェスティバル」のご案内

淡路地域をはじめ県内各地の文化やグルメ、特産品等の魅力に触れながら秋のひとときを満喫しませんか。

◆とき◆
11月14日(土) 15日(日)
10時~16時

入場無料

◆ところ◆
淡路ワールドパーク ONOKORO & 動物愛護センター淡路支所 芝生広場

★ステージイベント★

県内各地の多彩な出演者による音楽ライブ・ダンス・踊り・大道芸・ミュージカルなどが華やかにステージを彩ります。

観

★食のブランド「淡路島」オータムメッセ★

淡路島のとっておきの美味をめしあがれ

食

★ご当地グルメサミット★

県内外各地のグルメが大集合

★ふれあい大茶会★

Eco

★EVアイランド あわじフェスタ★

TOYOTA「MIRAI」展示 EV試乗会、EV屋台出店

★リサイクルセール・イン淡路2015★

生活用品のフリーマーケット(各日とも約30店)

★エコフェスティバル★

環境化学実験、エコクイズ等

★県民手づくりコーナー★

間伐材ジャングルジム遊び、シャボン玉ステーションなどの手づくり遊び体験がいっぱい

楽

★高校工業教育フェア★

★健康福祉まつり★

★新鮮なっ!とくしま号★

徳島県の魅力を紹介

【問い合わせ】 淡路ふれあいフェスティバル実行委員会
(淡路県民局 県民交流室 県民・商工労政課内)
〒656-0021 洲本市塩屋2-4-5
TEL:0799-26-2046 FAX: 0799-26-3090

淡路島のまち・地域づくり活動を応援する 「プラットフォーム淡路島」からのお知らせ

第1回あわじ地域づくりラウンドテーブル “災害対策は「地域のつながり」から”を終えて 【実施概要】

日時: 平成27年9月25日(金) 18:00~20:20
会場: 国立淡路青少年交流の家 研修室
参加者: 70名(来賓、関係者、一般申込み者含む)

南あわじ市阿万地域では2年前より兵庫県立大学防災教育研究センターの指導者と兵庫県立大学災害復興支援団体LANの学生が地域の皆さんと協働し「災害に強く、住民のつながりの強い地域コミュニティづくり」を推進する取り組みを展開してきました。

第1回あわじ地域づくりラウンドテーブルでは両者が活動を振り返り、その進行状況や課題となっている事案などについて情報を共有しながら、今後の具体的な対策や実践すべき事項について有意義な意見交換が成され、さらに今後においては新たに兵庫県防災士会淡路エリアとの連携も提案されるなど、益々地域防犯力向上と地域の活性化に向け弾みのつく場を提供することができたと思います。

※ 兵庫県立大学による阿万地域の取り組みについて詳しく知りたい方は大学ホームページ【地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)の地域防災・減災系プロジェクトをご覧ください。



【問い合わせ先】

淡路県民局県民交流室県民・商工労政課内
TEL/0799-26-2043 FAX/0799-26-3090
メール/awajikem@pref.hyogo.lg.jp

施設等	イベント	日時・会場他	料金・問合せ先他
淡路島くにうみ協会 〒656-0022 洲本市海岸通1-11-1 TEL 0799-24-2001 FAX 0799-25-2521	第30回「あわじ花と緑のコンクール」入賞作品パネル展示 ※1月は「人・花フォトコンテスト」の入賞作品と合同展示をします。	11/5(木)～29(日) 淡路市立サンシャインホール エントランス 12/9(水)～12/25(金) 洲本市市民交流センター アールギャルリー 2016/1/7(木)～1/31(日) 洲本市文化体育館1F エントランス	鑑賞無料 【問】(一財)淡路島くにうみ協会 0799-24-2001
淡路島 国営明石海峡公園 〒656-2306 淡路市夢舞台8-10 TEL 0799-72-2000 FAX 0799-72-2100	コスモスのつみとり体験	11/1(日)、3(火・祝) 13:30～15:30 大地の虹花壇 ※雨天中止	無料(別途入園料が必要) 【問】明石海峡公園管理センター 0799-72-2000
兵庫県立 淡路夢舞台温室 「奇跡の星の植物館」 〒656-2306 淡路市夢舞台4 TEL 0799-74-1200 FAX 0799-74-1201 10:00～18:00(最終入館17:30)	なんとクールな Modern Moss Garden	10/19(月)～11/8(日)	特別展入館料：大人1,500円、65歳以上(要証明)750円、高校生750円、中学生以下無料
	光と花のページェント～クリスマスフラワーショー2015～	11/14(土)～1/17(日)	入館料：大人600円、65歳以上(要証明)300円、高校生300円、中学生以下無料
	奥田とみよ クリスマス&お正月飾り教室～クリスマスアレンジ、しめ縄作り～	12/19(土)～20(日) 11:00～16:00 ※予約優先	材料費：別途要 入館料：大人600円、65歳以上(要証明)300円、高校生300円、中学生以下無料
淡路人形座 「11月公演」 『壺坂』 『阿波十』 〒656-0501 南あわじ市福良甲1528-1地先 TEL 0799-52-0260 FAX 0799-52-3072	11/1(日)～15(日) 大人1,500円 中高生1,300円 小学生 1,000円 幼児300円 10:00、11:00 13:00、14:00、15:00 「人形解説」・「壺坂霊験記 山の段」 11/16(月)～30(月) 大人1,500円 中高生1,300円 小学生 1,000円 幼児300円 10:00、11:00、13:00、14:00、15:00 「人形解説」・「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」 【淡路人形まつり特別企画】 11/1(日)・7(土)・8(日)・14(土)・15(日)・21(土)・22(日)・28(土)・29(日) 「バックステージツアー」 先着20名様限定 11時の公演終演後、ふだん見る事のできない舞台裏を座員がご案内いたします。 ※当日11時のお芝居を鑑賞された方、先着20名様のみとなっています。 11/22(日) いい夫婦の日 ご夫婦でお越しの方1名様無料 11/1(日)～30(月) 売店商品が5%OFF(飲み物は除く) ※上演内容は変更になる場合があります。ご了承ください。 【休館日】11/4(水)、11(水)、18(水)、25(水)		

第5回淡路島くにうみ講座

「100歳まで元気！
世界に学ぶ健康長寿食」

様々な食材の中から何を選び、どのように食べたらいいか、食生活からの丈夫な体づくりについて学びます。

やもり ゆきお

- ◆講師：家森 幸男氏
(武庫川女子大学 国際健康開発研究所所長)
- ◆日時：12月5日(土) 14:00～15:30
(開場：13:30)
- ◆場所：洲本市文化体育館(洲本市塩屋1-1-17)
- ◆定員：150名(無料)
- ※事前申込必要。定員になり次第締切。(12/4締切)

<問い合わせ> (一財)淡路島くにうみ協会事業課
 TEL 0799-24-2001 FAX 0799-25-2521
 Eメール awajishima@kuniumi.or.jp

施設等	イベント	日時・会場	料金等	
洲本市文化体育館 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-25-3321 FAX 0799-25-3325	平成27年度第37回兵庫県中学校総合文化祭書写・美術部門 ※中学生による音楽、美術、郷土芸能などの文化活動の総合発表会書写・美術部門の展示	11/20(金)~26(木) 10:00~17:00(最終日は15:00まで) エントランス	無料 【問】実行委員会 担当：斎藤 0799-28-0011	
	第46回洲本市小中学校造形展 ※洲本市内の小中学生とあわじ特別支援学校の児童生徒による作品展示	11/21(土)~23(月祝) 10:00~19:00(初日13:00~ 最終日は16:00まで) 会議室1A	同上 【問】洲本市由良小学校 担当：佐野 0799-27-0049	
洲本市民工房 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-22-3322 FAX 0799-22-3322	箔アート展 ※箔を使つての美術展	11/2(月)~7(土) 10:00~17:00(最終日は16:00まで) 3 F ギャラリー	入場無料 【問】洲本市民工房 0799-22-3322	
	墨に遊ぶ子供たち展 ※洲本市内で活動している書道教室(3教室)で遊ぶ子供たちと、教室以外の希望者を対象に毎年開催している作品展	11/14(土)、15(日) 10:00~17:00(初日は18:00まで、最終日は16:00まで) 3 F ギャラリー		
	第4回アートスタジオ夢作品展「幸せもん」 ※アートスタジオ夢は身体に重い障がいをもつ人たちの芸術文化活動を支援しています。今回は10周年を迎え、第4回アートスタジオ夢作品展「幸せもん」を開催します。	11/20(金)~22(日) 10:00~17:00(最終日は16:00まで) 3 F ギャラリー		
市民交流センター 〒656-0054 洲本市宇原1788-1 TEL 0799-24-4450 FAX 0799-24-4452	全日本写真連盟淡路支部会員展 ※会員の1年間の活動の成果を発表します。	11/11(水)~11/28(土) 9:00~21:00 (最終日は17:00まで) 月曜日休館 1 F アールギャラリー	観覧無料 【問】市民交流センター 0799-24-4450 http://www.sumoto-ccc.info	
南あわじ市 滝川記念美術館玉青館 〒656-0314 南あわじ市松帆西路1137-1 TEL 0799-36-2314 FAX 0799-36-5408	平成27年度 館蔵品展Ⅱ	~12/25(金) 9:00~17:00 (入館は16:30まで) 月曜日休館(ただし、11/23は開館)	大人300円 高大生200円 小中生100円 ※小中生は「ココロンカード」「のびのびパスポート」利用可 【問】玉青館 0799-36-2314	

「ポケットあわじ」は、応援隊の手により取材や編集がされ、毎月3,000部発行しています。そして、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約220カ所に無料配布しています。淡路文化会館のホームページには、カラー版を掲載していますので、是非ご覧ください。また、読者の皆さまからのお便り、情報をお待ちしています。

11月の特集は、「つなごう未来へ〜芸術の秋を楽しむ子ども達〜」です。10月4日(日)に洲本市民交流センターで開かれた『淡路島民俗芸能フェスティバル』においても、淡路島内や徳島から幼稚園児〜高校生までの若い世代の出演がたくさんありました。地域活性、地域再生、地域創生などといわれる中、子ども達の伝統芸能継承に取り組む姿から、たくさんの元気をもらつとともに地域を考えるいい機会になったような気がします。これからも粘り強く応援をしていきたいという気持ちになりました。(会館担当：中田)

編集だより

淡路文化会館臨時休館のお知らせ：耐震改修工事に伴い11/27(金)~29(日)まで停電となるため、**11月27日(金)は臨時休館**とします。

(発行) 淡路生活創造応援隊
淡路文化会館

〒656-1521 淡路市多賀600
 TEL 0799-85-1391 FAX 0799-85-0400
 E-mail: a-pocket@hyogo-ikigai.jp

